



# 脳損傷後の復学

### 復学にあたって

大人だけではなく、子どもや児童、生徒、学生も事故や病気で脳損傷になります。大人の脳損傷と最も大きく異なる点は、早期の復学を目指すために、療養や回復への時間を長くとることが出来ず、症状が十分回復しないうちに学校へ戻らなくてはならない点です。さらに、身体障害のために階段での移動が難しい場合には、教室の変更等を検討する場合があります。復学時点での症状や課題点について、主治医やスタッフと相談しつつ、学校と十分な情報交換を行うことが必要となります。また、学校によってはスクールカウンセラーが配置されています。大学生の場合は、多くの大学での窓口は学生課となっています。

### 障害者手帳

症状によって、身体障害者手帳、療育手帳（愛の手帳）、精神障害者保健福祉手帳の取得が可能です。また、精神科治療や投薬をしている場合は、自立支援医療の利用が可能です。

### 進級や進学

復学したのちも、進級や進学があります。特に進学する場合は、本人の情報が上手に引き継がれない場合があります。また、進路につきましては、本人の学習や生活に適した環境を考えることが必要となります。普通級だけではなく、支援級や支援学校の選択肢もありますので、学校や主治医・病院スタッフにご相談ください。

### 就労

高校や大学を卒業したのちには、就労を考えることとなります。その際に、障害者手帳を取得することで「障害者雇用」での就労が可能な場合があります。ご本人の適性に合わせた職業選択を必要がありますので、就労支援機関等にご相談ください。大学生の場合は、学内の就労支援スタッフ（キャリア支援課等）に相談することもよいでしょう。